



AH-1Wヘリ事故の原因究明と同型機及びオスプレイの即時飛行中止を要請

3月5日に発生した米軍ヘリAH-1Wスーパーコブラ着艦失敗事故等に対して、議長を初めとする基地関係特別委員会委員9名は、沖縄防衛局長へ事故原因の徹底究明と同型機及びオスプレイの飛行中止を強く要請した。

ぎのわん 第91号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411 (内337)
印刷 合同会社正美堂印刷所



市内9番目の小学校として平成26年4月1日に開校した「はごろも小学校」

定例会の経過

2月	24日	議会運営委員会
	26日	会期の決定、施政方針、案件上程、説明各派代表者会議
3月	3日	上程案件に対する質疑 全員協議会
	4日	質疑、委員会付託
	5~7日	各常任委員会議案審査
	11日	中間表決(委員長報告) 議会運営委員会、各派代表者会議、 議会改革に関する調査特別委員会
	12~14、17日	一般会計予算審議(4日間)
	14、17、19日	基地関係特別委員会
	18日	各派代表者会議
	18~20、 24~26日	一般質問 (質問者26名)
	20日	議会改革に関する調査特別委員会
	25日	基地関係特別委員会 議会運営委員会
27日	各常任委員会の審査報告及び表決	

平成26年度一般会計予算 **396億円余**
賛成多数により可決!!(反対6名)

3月
定例会 会期 2月26日~3月27日

第381回宜野湾市議会定例会は、2月26日から3月27日までの30日間の会期で開かれました。

今定例会は、平成26年度一般会計予算や各会計予算のほか、附属機関設置条例の一部を改正する条例について、男女共同参画支援センターの設置及び管理に関する条例の制定を含む34件にわたる議案等が審議され、26名の議員による一般質問も行われました。

3月定例会
主な議案の審議経過

平成二十六年
一般会計予算
可決

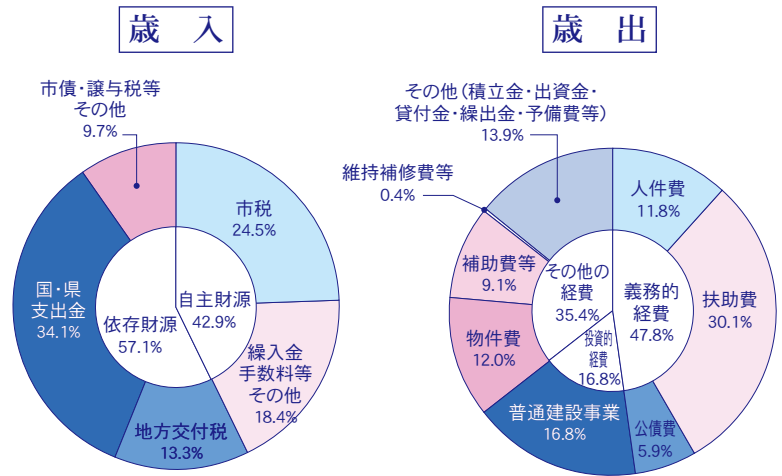
新年度一般会計予算は予算総額三百九十六億千五百万円、対前年比二十六億千五百万円（七・一％）の増となっており、新規事業としては、エントラテイメント産業支援事業、健康都市宣言五十周年記念健康づくり市民大会、防犯灯LED化事業など新たに十八事業が盛り込まれ、継続事業として九十七事業を含む合計百十五事業が実施される。
四日間の審査では、キャンブ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の先行取得による土地購入費の基金繰入金と一括交付金の予算配分のあり方、新設学校給食センター建設事業の整備方針の見直し、市道宜野湾十一号整備事業等に関して多くの議論がなされた。
定例会最終日には、予算の表決に際し、キャンブ瑞慶覧の先行取得事業に係る多額の基金繰り入れと一括交付金の活用の方針、新設学校給食センター建設事業の方針の見直しなどを理由に反対討論が行われたが、賛成多数（反対六名）で原案可決された。

平成26年度 各会計別予算

(単位：千円)

会計名	予算額
一般会計	39,615,000
特別会計	
国民健康保険	12,587,482
介護保険	4,898,360
介護老人福祉施設等	305,486
後期高齢者医療	803,707
下水道事業	1,762,404
宇地泊第二土地区画整理事業	821,059
佐真下第二土地区画整理事業	477,574
合計	61,271,072
水道事業	
収益的収入	2,312,177
収益的支出	2,000,113

平成26年度
一般会計歳入歳出予算性質別の状況



米軍ヘリAH-1Wスーパーコブラ
着艦失敗事故等に対する抗議決議

去る3月5日、米軍基地普天間飛行場所属のヘリAH-1Wスーパーコブラが沖縄本島東の海上でドッグ型揚陸艦「デンバー」への夜間着艦訓練中、着艦に失敗し、機体右側のスキッド（接地部分）などを破壊する事故が発生した。

今回の事故は海上で起こったため、幸いにも人的・物的被害等は確認されていないが、AH-1Wヘリが市街地上空を日常的に巡回訓練が繰り返されている宜野湾市民にとって、一つ間違えば大惨事につながりかねない状況に、不安や怒りはますます募るばかりである。

また、今回の事故発生前の3月2日、普天間飛行場所属のMV-22オスプレイが嘉手納飛行場に緊急着陸し、その後白煙が上がるトラブルが確認されており、4日には嘉手納飛行場所属のF-15ジェット戦闘機の風防ガラスが海上に落下するなど、米軍機の事故が相次いで起こっている。さらに、6日に別のAH-1Wヘリがトラブルにより種子島空港へ着陸するなど、今月に入り普天間飛行場所属機等による事故やトラブルが相次いでおこる事態に、米軍の安全管理体制に対する危機意識の欠如は明白であり、断じて容認できるものではない。

本市議会は、これまでこのような事故が発生するたびに再発防止及び綱紀粛正の徹底を米軍及び関係機関へ再三再四強く申し入れてきたにもかかわらず、またしてもこのような事故が起きたことに対し、事故後の効果ある再発防止策が講じられているのか甚だ疑問であり、強い憤りをおぼえるものである。

よって、本市議会は、市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、今回の米軍ヘリAH-1Wスーパーコブラ着艦失敗事故等に対し、厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 事故原因の徹底究明と対策の公表がなされるまで同型ヘリ及びオスプレイの飛行を即時中止すること。
2. 実効性のある防止策として、すべての米軍航空機の一斉点検、整備を行うこと。
3. 普天間飛行場の即時閉鎖、早期返還を実現すること。

以上、決議する。

平成26年3月27日

沖縄県宜野湾市議会

附属機関設置条例の
一部改正

議案の内容は、公立保育所及び福寿園の民営化、学校給食調理業務等の委託に向けて新たに選定委員会等を設置するための条例改正である。

可決

委員会審査では、学校給食調理業務等委託業者選定委員会の設置に係る、保護者等の意見集約について質疑がなされ、基本方針等の説明会開催後に意見等の集約をしたことの答弁がなされた。

そのほか、民営化に伴う財政削減効果や他市の学校給食調理場の運営状況についても多くの質疑がなされている。本会議の表決に当たっては、「民営化ありきで、市民等への説明が不十分であり、児童生徒に与える影響等を踏まえても公営を堅持すべき」との反対討論に対し、「民営化によつてサービスマン水準を維持した上で経費削減を図り、その財源を新たな市民ニーズに対応していくべき」との賛成討論がなされ、賛成多数（反対七名）で原案可決された。

訴えの提起について

同意

議案の内容は、真直志在の市有地において、不法占拠している相手方に対し、土地の明渡し等を求める訴えを提起したいとの内容である。

委員会審査では、普通財産貸付に伴う事業計画書の提出や担保提供の有無について質疑がなされ、事業計画書は平成九年の契約締結時に提出された。

れているが、担保は取っていないとの説明がなされた。委員からは、今後は財務規則に基づき手続きはしっかりと行つよう努めてもらいたいとの提言もなされ、本件については全会一致で同意された。

議会事務局の人事異動

平成二十六年四月一日に議会事務局の人事異動が行われました。

事務局長 宮城 治（昇任）
課長 多和田 眞満（昇任）
議事係 伊佐 真也（税務課）
よろしく願います。

なお、宮城治さんが商工農水課へ異動し、事務局長の島袋幸盛さんと次長の瀬名波稔さんが退職されました。大変お疲れさまでした。

一般質問

今定例会は、26名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 佐喜眞 淳
- 副市長 松川 正則
- 教育長 玉城 勝秀
- 水道事業管理者 外間 伸儀
- 総務部長 宮城 聡
- 企画部長 和田 敬悟
- 基地政策部長 比嘉 秀夫
- 福祉推進部長 大屋 孝夫
- 健康推進部長 玉那覇 豊子
- 市民経済部長 宮城 豊信
- 建設部長 黒澤 伸行
- 教育部長 玉那覇 清
- 指導部長 石川 正信
- 消防長 米須 清一
- 会計管理者 國吉 秀子

普天間飛行場周辺まちづくり事業について



呉屋 等議員

○議員 当該事業の拡充計画について、事業内容や事業費は精査がなされたのか。

○企画部長 国道三三〇号普天間三差路の改良や中央通りの拡幅は見直しを行い、概算事業費も縮小している。

○議員 交流拠点施設について、当該地域にはないような子供たちが遊べたり、お年寄りの健康づくりができるような施設を検討できないか。

○企画部長 すばらしい御提案であり、今後は地域の皆さんのアイデア等も集約し、それを取り入れてまいりたい。

○議員 平和祈念像の原型の活用を際して、山田真山先生の作品を展示できるスペース等の整備も検討できないか。

○企画部長 平和祈念像の原型は、交流拠点施設として整備を検討している。御提言の内容については、特定防衛施設周辺整備調整交付金や一括交付金の活用も踏まえ、検討してまいりたい。

○議員 すばらしい実施計画の策定を期待している。

市民課窓口業務の民間委託について



知名康司議員

○議員 民間委託する業務範囲についてお聞きしたい。

○市民経済部長 住民票、戸籍等の諸証明発行業務、印鑑登録等の業務、住民異動届の受付業務、戸籍届の記載業務、フロアサービス業務、電話対応業務等となっている。

○議員 個人情報流出があった場合の罰則等の取り扱いについて伺いたい。

○市民経済部長 委託契約書

において関連法令の遵守を義務づけるとともに、個別に個人情報取り扱いを定める特約を締結し、具体的なルールを規定してまいりたい。

○議員 これまで窓口へ携わってきた臨時職員の処遇は、どのように考えているか。

○総務部長 任期満了になる臨時職員については、本人の意向等も確認の上、民間委託先での勤務を希望する方については委託先へ紹介していきたいと考えている。

○議員 やる気のある臨時職員も大勢おり、委託先での雇用をぜひお願いしたい。

瑞慶覧の返還跡地利用計画について



比嘉憲康議員

○議員 返還ライン上で土地が分割されることにより百坪米未満となる土地の地主は、五千万円の税の特別控除が受けられなくなる可能性があるが、どのように考えているか。

○基地政策部長 当該課題については県とも連携し、国と協議中であり、課題解決に向けて取り組んでまいりたい。

○議員 浦添市ではキャンプキンザーの一部返還地域の跡地利用について、定期借地方式を進めているが、当該地区においても検討できないか。

○基地政策部長 可能性はゼロではないと考えており、今後研究してまいりたい。

○議員 当該地区に普天間高校や新設学校給食センターを移設した場合の素案も作成し、経済波及効果等も含めて検討してみたいかがか。

○企画部長 今後、跡地利用計画を策定する中で、それも含めて検討してまいりたい。

○議員 ぜひ、いろいろな角度から検討できるように進めていただきたい。

普天間飛行場周辺まちづくり事業について



島勝 政議員

○議員 松並木歩道整備が国道三三〇号の東側、普天間高校側のみとなっているが、西側の整備について伺いたい。

○企画部長 並松街道は、歴史に沿った形で普天間高校側に整備を予定している。また、西側は商業活性化に向けて、関係部署とも連携し、整備方針等を検討してまいりたい。

○議員 地域からは、桜や梅ではいけないのかとの意見もあるが、どのようにお考えか。

あるが、どのようにお考えか。

○企画部長 当該事業は普天満宮等を生かした交流による街の活性化を目的としており、歴史的シンボル性の高いジノーンナンマチを考えている。

○議員 普天間三差路を挟んだ門前広場や参道広場への接続が歩道橋であり、高齢者や障害者の方への配慮にも欠けていると考えるが、いかがか。

○企画部長 交通量の多い場所でも調整の上、撤去に向けて取り組んでまいりたい。

○議員 ぜひ、そのように取り組んでいただきたい。

普天間飛行場の危険性の除去及び早期閉鎖、返還について



我如古盛英議員

○議員 市民団体が粘り強く継続している同飛行場閉鎖、返還運動について、市はどのように考えているのか。

○基地政策部長 市として市民団体等の評価についての言及は難しいところがある。

○議員 県内全市町村の代表等がオスブレイの配備撤回や同飛行場の県内移設断念を求めて提出した建白書についてはどのように考えているのか。

○議員 米軍基地から派生する事件等に日常生活も脅かされている事実を、市長が先頭に立ち全国へアピールしていくべきと考えるが、いかがか。

○市長 一日も早い普天間基地の返還は市民の願いでもあり、先頭に立って取り組んでまいりたい。

キャンブ瑞慶覧の跡地利用計画について



喜舎場保議員

◎議員 当該跡地に重粒子線施設が建設されるといふ話が上がっているが、当該施設を誘致した際における本市への経済効果はどのようになるか。

◎企画部長 県は、地理的な観点から、国内だけでなく海外も視野に入れた医療ツーリズムを考えているが、まだ中間報告が出たばかりの段階であり、本市では、経済効果について詳細を把握していない。

◎議員 県外へ視察、研修に行く場合、市役所近くのビジネスホテル等での宿泊を考えると、本市にはそのような施設がない。そこで、経済効果等を考慮し、本市中心部へビジネスホテルを誘致してはどうかか。

◎企画部長 本市に一番足りないのがビジネスホテルと考えており、誘致について検討する必要があると感じている。

◎議員 西普天間住宅地区だけに限らず、エリア全体で考えていただき、どのようにして本市へ経済効果をもたらすのかを考えていただきたい。

大謝名5丁目16番から21番までの基盤整備について



濱元朝晴議員

◎議員 当該地域はとても危険であるが、その場所について確認をしたことがあるか、お伺いしたい。

◎建設部長 当該場所については、道路の現況調査を行った際、狭小地域であることを確認している。

◎議員 基盤整備の方法として区画整理などがあるが、市は、当該地域の基盤整備についてどのように考えているか、

◎議員 西普天間住宅地区や真栄原地域には課題が山積しており、当該地域をモデル地域として早目に整備をしていただきたい。

◎議員 県外へ視察、研修に行く場合、市役所近くのビジネスホテル等での宿泊を考えると、本市にはそのような施設がない。そこで、経済効果等を考慮し、本市中心部へビジネスホテルを誘致してはどうかか。

◎企画部長 本市に一番足りないのがビジネスホテルと考えており、誘致について検討する必要があると感じている。

◎議員 西普天間住宅地区だけに限らず、エリア全体で考えていただき、どのようにして本市へ経済効果をもたらすのかを考えていただきたい。

◎議員 当該地域を含め密集市街地を形成している地域については、都市基盤の整った適正な密度の市街地へ転換していく必要がある。西普天間住宅地区の返還や真栄原地区まちづくり検討事業等が進められているが、財源や上位計画等を考慮した上で、各地域の密集市街地の改善を検討してまいりたい。

◎議員 西普天間住宅地区や真栄原地域には課題が山積しており、当該地域をモデル地域として早目に整備をしていただきたい。

新設学校給食センターの施設整備の見直しについて



上地安之議員

◎議員 財源の問題により、学校給食に係る基本方針等を変えて、当該施設の見直し作業を行うのか、お伺いしたい。

◎教育長 財源の問題で子供たちへの安心、安全な給食が損なわれる学校給食センターを建設するのではなく、基本理念等をしつかり踏襲し、見直し作業を行ってまいりたい。

◎議員 教育委員会は、一調理解ラインの統合案を進めてい

かれるのか。
◎教育長 当初計画の中で、どの部分を見直すか現在検討しており、調理解ラインについては最後の段階で決断するものだと考えている。また、経費の圧縮を考慮した場合、一調理解ラインへの変更により、施設面積の縮小、あるいは設備に係る費用を軽減するといった選択肢も含め、慎重に検討してまいりたい。

◎議員 禍根を残さないよう、子供たちのためにどうあるべきかを考えて、今後、見直しを行うのであれば丁寧に進めていっていただきたい。



新設給食センター整備方針見直しに係る話し合い会(はごろも小)

県道241号線沿い村田金物店前交差点の安全対策について



伊波秀男議員

◎議員 当該交差点は街灯が少ないため大変暗く、歩行者が見えにくいなどの危険な状況にあるので、ライトアップをしていただきたいが、いかがか。

◎市民経済部長 夜間における歩行者の通行の安全を図る必要があることから、県道管理者に対し、当該交差点及び横断歩道への照明の設置要請を行ってまいりたい。

◎議員 事故等防止のため、当該交差点の信号機を右折標示のある信号機へかえていただくよう関係機関へ要請していただけないか。

◎市民経済部長 宜野湾警察署に要請した際、右折標示の信号機設置は、基本的に右折帯がないと難しく、当該交差点は、右折帯がないことから設置は困難であるとの見解である。

長田小学校通学路及びハンタ道の整備について



米須清正議員

◎議員 市道長田六号から長田・十九区線と交わる三差路、長田三丁目三番十号付近は交通量が多く渋滞がみられる。また、市道長田六号の幅員は狭く、歩道もないため通学路として非常に危険である。一時停止線や横断歩道の設置を宜野湾警察署等と協議していただきたいが、いかがか。

◎市民経済部長 道路交通法上、一時停止線や横断歩道は

公安委員会が設置するものと定められている。市としては、宜野湾警察署に停止線や横断歩道設置の要請を行い、さらに、注意喚起のため、反射板の設置を考えている。

◎議員 市道長田六号は児童生徒の通学路として利用が多いことから、事故が起きる前に安全確保のため歩道部分のカラー舗装整備を早急に対応できないか、伺いたい。

◎建設部長 市道長田六号の歩行者安全確保について、宜野湾警察署及び市民生活課と協議し、平成二十六年より施工したいと考えている。

大山地区土地 区画整理事業 について



伊佐光雄議員

大山地区土地区画整理事業の事業化に向けて、進捗状況を説明いただきたい。

建設部長 平成二十五年二月に作成した事業計画(案)に基づき、関係機関及び関係部署との調整を行っているところである。

議員 今後の当該区画整理事業のスケジュールについても説明いただきたい。

建設部長 平成二十五年

の宜野湾市西海岸地域開発検討調査において、区画整理事業の工程計画案が示されており、事業認可は二十八年度、仮換地指定が三十一年度、移転補償及び工事着手が三十二年度になる予定である。

議員 当該区画整理事業は、MICE施設の誘致や都計街路整備、田いも生産地域の保存など課題が残っているため、地権者へ十分な説明をしていただきたいが、いかがか。

企画部長 有識者検討委員会で今後の方向性を決定し、早い時期に地権者の皆さんに説明していきたい。

国道330号沿いの 健康増進のための 施設設置について



宮城勝子議員

国道三三〇号沿いのスポーツ施設の設置について、市が建設に向けて取り組んでいる(仮称)総合保健福祉センターや既存施設の児童センター、老人福祉センター、人材育成交流センターめぐみ等でも対応できるか関係部署と調整したいとのことであったが、その後どのような調整がなされたのか。

議員 国道三三〇号沿いのスポーツ施設の設置について、市が建設に向けて取り組んでいる(仮称)総合保健福祉センターや既存施設の児童センター、老人福祉センター、人材育成交流センターめぐみ等でも対応できるか関係部署と調整したいとのことであったが、その後どのような調整がなされたのか。

企画部長 議員提案のトレ

一ニング施設を備えた(仮称)総合保健福祉センターの施設建設に向けて、建設地検討委員会を設置し、真栄原新町の跡地を計画地として選定を行った。今後は基本構想、基本計画の策定をしながらスピードに進めてまいりたい。

議員 市立体育館以外で、真栄原新町の跡地にトレ一ニング施設があると、国道三三〇号沿いの住民も利用しやすく、バス一本で通えるため、交通の便も助かる。また、沖縄県は車社会のため、運動できる環境整備をぜひ取り組んでもらいたい。

学校給食センター 業務の民間委託 について



玉元一恵議員

学校給食センター業務の委託内容について、お伺いしたい。

総務部長 委託については、調理、配缶、配送、回収等の作業部門の業務や、それに付随する給食センターの日常管理業務に限定をしている。献立の作成、地産地消の取り組みや食育など、給食の根幹に係る業務については、市が責任を持って行ってまいりたい。

議員 他市において、当該業務を民間委託した際、アレルギー除去食の対応ができなかったと聞いたが、本市ではどのように取り組んでいくのか、お伺いしたい。

キャンブ瑞慶覧 の返還跡地利用 計画について



桃原 功議員

支障除去作業部会や協議会に、土壌汚染等の専門家あるいは市民団体の代表を入れるべきだと考えるが、いかがか。

基地政策部長 返還実施計画(案)に対して、市としては地権者の意見も聞きながら第三者機関の設置等について求めた意見書を国へ提出したところである。

議員 それでは、市民団

他市において、当該業務を民間委託した際、アレルギー除去食の対応ができなかったと聞いたが、本市ではどのように取り組んでいくのか、お伺いしたい。

総務部長 那覇市では、アレルギー除去食等の対応ができていないことから、民間委託での対応も可能だと考えているが、子供たちの食の安全にかかわるので、十分注意をして今後進めてまいりたい。

議員 地産地消等についても保護者に対し、どのように取り組んでいくのかしっかりと説明を行っていただきたい。

等々を交えて協議を行っていくと理解してよいか。

基地政策部長 市の意見も踏まえ、作業部会の場で説明をして、具体的な調査計画の立案を今後行っていくと、防衛局から回答を得ている。

議員 沖縄市のサッカー場からドラム缶が発見された際、土壌汚染調査を市と国が行ったが、調査結果として、汚染物質の数値が異なるといった事例もあることや、米軍の隠蔽体質的なことも考えると、ぜひ市民団体等も含めて今後の協議を進めていっていただきたい。

通学区域制度 の弾力的な運用 について



屋良千枝美議員

他県では教育改革の一環として、通学区域の弾力化を実施している地域があるが、県内の実施状況について伺いたい。

指導部長 通学区域制度の弾力化は、近隣の市町村教育委員会においても学校指定校変更や区域外就学を認め、児童生徒の具体的な事情に即して弾力的に実施されており、県内においては、那覇市及び

議員 学校が目前にあるにもかかわらず、通学区域の線引きにより指定校にしか通学できない状況を認識し、通学区域の柔軟かつ弾力的な見直しについて検討すべきだと考えるが、いかがか。

ごみ減量化の 取り組み について



大城政利議員

平成四年度から門前収集がスタートし、平成六年度には市内全域へ移行したが、市内にはまだ、ステーションへごみを出さざるを得ない地域がある。現在、ステーション方式は何力所あるのか伺いたい。

市民経済部長 本市では門前収集が原則であるが、道路が狭隘でパッカー車が転回できないところはステーション

方式である。以前より若干ふえている状況である。

議員 市の方針は門前収集にもかかわらず、市民の受けるサービスに違いがあり、不公平感がある。今後は軽自動車への導入を検討してはどうか。

市民経済部長 軽自動車の導入については、現在の委託料に加えて三千五百万円かかる試算も出ており、財政担当部署とも協議を重ねながら門前収集の実現に向けて、今後とも取り組んでまいりたい。

議員 指定ごみ袋の手数料としての歳入もあるので、早急に対応をしてもらいたい。

公共火葬場の建設について



佐喜真進議員

◎議員 公共火葬場建設に当たっては、財源の確保が問題だと思いが、どのようにお考えか。

◎企画部長 現在のところ、鋭意調査、研究を行っているが、補助メニューがないため、財源の確保が大きな課題となっている。一つの方策として、五市町村の共同事業として、一括交付金の特別枠が活用できないものか、研究して

いこうという申し合わせをしているところである。

◎議員 さきの定例会では、当初の供用開始が平成二十八年四月から三年延びて、平成三十一年四月という答弁があった。住民説明会等がスムーズにいくと、供用開始時期が前倒しになることも可能なか。

◎企画部長 住民説明会だけではなく、事業手法など、財源確保にかなりの時間を要するため、現段階では平成三十一年四月供用開始を目途に鋭意取り組んでいる。

◎議員 これ以上おくれがないように進めていただきたい。

市道宜野湾11号の早期整備について



仲村春松議員

◎議員 市道宜野湾十一号の市道認定について、どのような状況なのか伺いたい。

◎建設部長 平成二十六年度から防衛省の補助を受けて実施していく予定であり、国庫補助を受ける際に、市道認定されていることが条件であるので、市道認定については、六月定例会に議案として提出したいと考えている。

◎議員 当該事業を進める上

で地主の同意を得ることが高いハードルとなっていた。沖縄防衛局が事業実施を認める同意率と現時点で何名の同意が得られたのか伺いたい。

◎建設部長 以前は一〇〇%の同意が前提であったが、これまでさまざまな協議を行ってきたところ、現在は返還同意率一〇〇%にはこだわらないとの回答を得ている。また、平成二十年度時点で、返還同意率は八九%であり、九十二名の方の同意を得ている。

◎議員 当該道路の完成は市の発展に寄与するため、今後とも速やかに進めてもらいたい。

我如古区南側の宇地泊川沿いの公園整備について



平良眞一議員

◎議員 平成二十二年三月に都市公園整備新規計画作成業務報告書が策定され、その中で我如古区の基本計画は、平成三十二年を目標年次として公園整備スケジュールの記載があるが、その進捗状況を伺いたい。

◎建設部長 当該公園について具体的な検討はまだなされていない状況だが、当該区域は旧日本軍の陣地壕が残在し

ており、内部は落盤等で安全管理等の対策が必要となることから、関係部署と調整を行いながら対応を検討したい。

◎議員 当該場所周辺は戦時中の史跡が多くあり、戦跡を語り継いでいくためにも、公園整備を含めて検討してほしいが、いかがか。

◎教育部長 当該陣地壕は、市内における激戦地の一つであり、沖縄戦を語る戦跡として、市の指定ないし登録文化財として保存し、さらに、平和学習等で活用できるか調査を含めて関係部署と連携を図りながら検討したい。



我如古の陣地壕群

各施設の民営化及び民間委託等について



桃原朗議員

◎議員 今から十七年も前に作成された宜野湾市行財政診断概要報告書の中でも、直営で抱える現業部門の各施設については、基本的に民営化、民間委託を図るべきとの指摘がなされ、今日に至っていることについて、市長はどのようにお考えか。

◎市長 今後の財政や組織を考えた場合、現状を変えない、小手先の改革だけではなく、

民間でできる業務は積極的に民間のノウハウを活用し、公にしかできない業務への職員集約化を図っていく必要があると考えている。

◎議員 民営化、外部委託をしっかりと進めていくという市長の決意をお聞きしたい。

◎市長 これまでの行財政改革では民営化まで実施されておらず、今後は最少の経費で最大の効果を上げるため、職員の意識改革及び市議会の御理解のもと、スピーディーかつ効果的に進めてまいりたい。

◎議員 迅速に、しっかりと対応していただきたい。

児童生徒のいじめ対策について



伊波一男議員

◎議員 いじめは小学校六年から中学校一年のスタートにかけて多いと言われていたが、この対策等について、協議したことがあるか伺いたい。

◎指導部長 小中学校で連携して情報交換を行い、それに基つき四月、五月にかけて見届ける等の対応を行っている。

◎議員 いじめられている側への対応についても伺いたい。

◎指導部長 いじめられた時

点で早期に相談ができるような支援体制や、重大な事態にはカウンセラー等が相談を受けるなどの対応も行っている。

◎議員 いじめ防止のポスターやのぼり等で視覚的に訴えたり、法律の専門家を活用したいいじめ担当者の設置などにも必要と考えるが、いかがか。

◎指導部長 ポスター等の活用状況など、各学校へ確認の上、取り組んでまいりたい。また、専門家等の活用については、予算的な問題も含め、今後研究してまいりたい。

◎議員 しっかりと取り組んでいただきたい。

市道宜野湾4号、6号、7号の安全対策及び整備について



市道宜野湾四号について、巻き込み防止のため、カラー舗装及びポストコーンの追加設置を要望したいが、どのようにお考えか。

建設部長 当該道路は幅員も狭いことから、ポストコーンによる歩道の確保は厳しいと考えているが、両サイドの白線を引き直して、安全対策のための注意喚起をしてまいりたい。

議員 市道宜野湾六号及び七号の交差点についても、白線内側に道路利用者への注意喚起のためのカラー舗装を行うと、より安全が確保できると思うが、いかがお考えか。

建設部長 当該交差点の安全対策については、カラー舗装を維持管理業務の中で今週末に終える予定となっている。

議員 当該箇所は通学路になっており、また、市道宜野湾十一号からの交通量も多いところである。歩行者が常に危険な状態にあるので、ぜひとも安全対策を講じてもらいたい。

読書活動推進計画と児童生徒の読書活動について



本市の小中学校における読書活動及び読み聞かせボランティアの現況等について、お伺いしたい。

指導部長 全国学校図書館協議会の調査と比較すると、本市の子供たちの読書量は全国を上回っており、各小中学校における読書活動への取り組みは充実しているものと考えている。また、読み聞かせボランティアについては、小

学校で週一回、中学校で月一回実施することで、子供たちの読書意欲を高め、読書量の増加につながっていると捉えている。

議員 教育委員会からいただいた資料により、本市の子供たちの読書活動は把握できているのだが、「宜野湾市の教育」では、小中学校での読書活動についての記載がない。そこで、読書活動等について容易に把握できるよう、当該冊子の中に活動内容等を掲載していただきたいが、いかがか。

教育部長 今後、読書活動について掲載してまいりたい。

福寿園の民営化について



民営化に伴い、土地、建物の売却益で多額の歳入が見込まれるが、その受け皿はどのように検討しているのか。

議員 民営化に伴い、土地、建物の売却益で多額の歳入が見込まれるが、その受け皿はどのように検討しているのか。

企画部長 国・県への補助金の返還額は、土地、建物の鑑定評価による譲渡額が確定した段階で決定する。また、地方債等の借入金についても、線上償還が発生することから、当面は一般財源として広く活用できるような手法を考えて

いる。

議員 福寿園は三十七年間老人福祉の拠点施設として運営されてきた。市民の福祉財産として考慮した場合、売却益は基金として確保し、福祉政策で市民へ還元できるようにぜひ検討をお願いしたいが、いかがお考えか。

企画部長 公有地を売却した場合、通常は公共施設整備基金に一度積み立てをし、そこから用途を定めている。現在、公共施設を売却して特定目的基金に積み立てるとい手法をとっていないため、今後検討してまいりたい。



カラー舗装がされた市道宜野湾6号及び7号の交差点

大型MICE施設の誘致について



去る三月五日には市民総決起大会も開催され、市長を先頭に誘致活動を展開されているが、今後の計画等はどのように考えているのか。

議員 誘致した場合、懸念される課題についても伺いたい。

企画部長 今後の取り組みとしては、平成二十六年に予定している西海岸地域開発基本計画策定業務において、さらに詳細な検討を行ってまい

りたい。また、施設を誘致した場合の課題については、誘致予定場所である宜野湾海浜公園多目的広場周辺に建設を行う際、公園機能の代替施設の整備が必要となる。さらに、事業主体や費用負担、国庫補助を受けて整備した既存施設等の取り扱いについても、課題が残ると考えている。

議員 県は本年度中に場所を選定し、次年度以降、基本設計に着手していくとのことである。誘致に向けてはアジアの中心沖繩を見据えて、本市の発展につながるよう積極的に取り組んでいただきたい。

議員 県は本年度中に場所を選定し、次年度以降、基本設計に着手していくとのことである。誘致に向けてはアジアの中心沖繩を見据えて、本市の発展につながるよう積極的に取り組んでいただきたい。

普天間飛行場の早期閉鎖、返還の取り組みについて



ことしの施政方針では、なぜ県外移設を求める公約は消え、負担軽減策の取り組みが強調されているのか。

議員 ことしの施政方針では、なぜ県外移設を求める公約は消え、負担軽減策の取り組みが強調されているのか。

市長 市民の生命、財産を預かる市長として、絶対あつてはならぬ固定化を強調し、政府にしっかりと訴えるのも役目と考えている。

議員 海外の著名人から普天間飛行場の返還に条件がつくことは許されない、直ちに返還すべきとの賛同がなされ、市民、県民の思いは世界に広がっている。市長にはこのよ

うな思いを政府へ強く訴えていくことを願っている。

うな思いを政府へ強く訴えていくことを願っている。

うな思いを政府へ強く訴えていくことを願っている。

うな思いを政府へ強く訴えていくことを願っている。

うな思いを政府へ強く訴えていくことを願っている。

うな思いを政府へ強く訴えていくことを願っている。

第381回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第1号	平成25年度宜野湾市一般会計補正予算(第5号)	原案可決(全会一致)
議案第2号	平成25年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第3号	平成25年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第4号	平成25年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第5号	平成25年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第6号	平成25年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第7号	平成25年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第8号	平成25年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第9号	平成26年度宜野湾市一般会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第10号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第11号	平成26年度宜野湾市下水道事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第12号	平成26年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第13号	平成26年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第14号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第15号	平成26年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第16号	平成26年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第17号	平成26年度宜野湾市水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案第18号	宜野湾市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第19号	宜野湾市人材育成交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第20号	宜野湾市男女共同参画支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第21号	宜野湾市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第22号	宜野湾市消防手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第23号	宜野湾市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第24号	(仮称) 伊利原老人福祉センター新築工事(建築)の請負契約について	同 意(全会一致)
議案第25号	訴えの提起について	同 意(全会一致)
議案第26号	平成25年度宜野湾市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全会一致)
議案第27号	宜野湾市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
決議案第28号	米軍ヘリAH-1Wスーパーコブラ着艦失敗事故等に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第30号	米軍ヘリAH-1Wスーパーコブラ着艦失敗事故等に関する意見書	原案可決(全会一致)
報告第1号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
報告第2号	宜野湾市新型インフルエンザ等対策行動計画の作成について	報 告
陳情第62号	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望	閉会中の継続審査
陳情第63号	特別支援教育プロジェクトチーム発足に関する陳情	採 択(全会一致)
陳情第64号	船員税制(住民税)の減免に関する申し入れについて	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第20号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第38号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情 陳情第55号 米軍普天間基地に関する要請 陳情第64号 船員税制(住民税)の減免に関する申し入れについて	承 認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第31号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情 陳情第46号 地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書 採択について 陳情第61号 組合製品採用についての要請	承 認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第21号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第28号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第30号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第39号 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情 陳情第51号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情 陳情第62号 これからの勤労青年教育のあり方に関する要望	承 認 (福祉教育常任委員会)